

街なか養蜂ってなに？

春井勝 (養蜂コンサルタント)

「ブン♪、ブン♪、ブン♪、ハチが飛ぶ〜」。と歌われて
いるミツバチ。蜂蜜やローヤルゼリーなどの健康食品の提
供者として知られていますが、現実には日本では「ハチは刺
すから怖い」といって嫌われる場合が多いです。

ところで、私は養蜂家として、50群^(注)ほどミツバチを
飼っています。それも宝塚や尼崎の街なかで…。それと
「ミツバチを飼いたいけど飼いがわからない、お金を払っ
ても教えてほしい」、という方々に技術指導、蜂蜜の販
売方法なども教示する「養蜂コンサルタント」としても活
動しています。

意外に思われるかもしれませんが、郊外の田園地帯より
も、街なかの方がミツバチにとって住みやすい環境になっ
ているんです。

今、郊外の田園地帯はイメージとしては「絵」になり
ますが、ミツバチにとっては過酷な環境になっています。
かつてあった「れんげ畑」、今はもうほとんどありません。
それに加えて、稲作をする際に「ネオニコチノイド」とい
う種類の農薬が広範囲に散布され、ミツバチに非常に害を
及ぼしています。方向感覚を狂わせ、自分の巣箱に帰れな
くなり、巣箱にほとんどミツバチがいなくなる「蜂群崩壊
症候群 (Colony Collapse Disorder)」という現象を引き
起こします。実際、この農薬はEUではすでに使用が禁
止されています。

一方、街なかでは、ヒトにも悪影響をおよぼす農薬の被
害がありません。それにミツバチの天敵であるオオスズメ
バチもほとんどいません。そして何よりも、花壇の草花で
はなく、街路樹、公園樹、生け垣などの緑化樹木が多く植
えられていることが、「街なか養蜂」が展開できる大きな
要因です。また、阪神間の大坂湾沿岸は比較的温暖なので、
年間を通していろんな花が咲いており、冬でもミツバチは



春井さんのはちみつは、神戸YWCAで販売中。P4をご覧ください。

元気に飛び回っています。雨の降らない日 (無降雨日数)
が多いことも助けになっています。

私の場合、一つの巣箱 (1群) で50kg以上蜂蜜を採る
ことができます (普通1群で25kg採れば上出来とい
われています)。特に、天候不順な年ほど、田園地帯との
差は明らかです。季節の移り変わりによって咲く花が変化
し、採れる蜂蜜も咲く花の由来により、色、香り、味が微
妙に違います。

季節の移ろいを感じながら味わう蜂蜜は、趣のあるもの
です。機会があれば一度お試しあれ。

聖書にある「乳と蜜の流れる地」は遠いところではな
く、案外身近にあるかも知れませんね。

(注) 群：ミツバチのコロニーのこと。1群はひとつの巣箱のこと

平和と人権センターの動き

2021年4月にスタートした「平和と人権センター」は、平和な社会の実現とよりよい社会づくりの人材を育てるため、「世界社会」「環境・暮らし」「ユース・エンパワーメント」の3つの委員会のもと、5つのプロジェクトが始動しています。

今回は、「こどもいいんかい」（ユース・エンパワーメント委員会）と「韓国市民社会を知り日本市民社会を考える」（世界・社会委員会）、2つのプロジェクトの活動を紹介します。

韓国市民社会を知り、日本市民社会を考えるプロジェクト

「韓国市民社会を知り、日本市民社会を考えるプロジェクト」では、「オンラインカフェ」3回シリーズを企画し、その第1回を7月25日（土）に開催した。2017年ドキュメンタリー韓国映画『共犯者たち』を各自で視聴し、感想、疑問などを語り合う内容で、当日の参加者は、9人と少なかったが、東京からの参加もあり、オンラインの効果を知った。

まずはじめに映画の大まかな解説をし、2つのグループに分かれ、映画について話し合った。「こんなことが韓国で起こっていたの！」「市民を動かしたものは何？」など素朴な質

問や感想を出し合ったが、韓国の歴史や社会について、自分たちの知識の少なさも感じた。

第2回目は9月25日（土）、「ゲストスピーカーと読み解く～映画『共犯者たち』・韓国市民社会」と題してゲストスピーカーに韓国問題研究所の康宗憲（カン ジョンホン）さんを迎えた。改めて映画の背景について学び、第1回で出た疑問に答えていただいた。

韓国市民社会を知る入口に立ったところではあるが、回を追うごとに理解を深め、日本市民社会を見直し、私たちができることは何かを一緒に考えていきたいと思う。ぜひ3回目にもご参加ください。（野村 春美）



アナログゲーム大会のようす

こどもいいんかい

「こどもいいんかい」は子どものやりたいを子どもと大人で形にすることを目標にしています。

8月5日（木）の第1回は、家でしていたアナログゲーム^(注)を家族以外の人とも対戦したいということで、小学生だけでなく大人の参加も募りました。

初めての企画ということで、おおまかな流れや進め方は大人の委員で予め考えていましたが、決定するのは子どもたちです。2回のミーティングでは、ゲーム会を開催するのに何が必要で何ができるか、などを子どもたちと対話しながら一緒に考えました。納得するまで説明を迫られることもありましたが、参加費については、大人は500円を提案しましたが、高いという意見が多く、400円になりました。

規模は小さかったものの、参加した子どもたちはゲームを存分に楽しみ、次もやりたいとの声があがりました。今後は広報と感染防止対策も課題の一つです。取り組んだ楽しさを味わえる「こどもいいんかい」にしたいと考えています。（木村 文子）

(注) アナログゲーム：カードゲーム、ボードゲームなど、電源を使わないゲームのこと

第3回オンラインカフェ

韓国在住ゲストスピーカーに聞く ～少し前・今の韓国社会～

2021年 **11月20日**（土）15:00～17:00

開催方法：オンライン（Zoom）

ゲストスピーカー：長尾有起さん（ソウル在住牧師）、
矢野百合子さん（韓国語通訳者）

参加費：1,000円

申込方法：11月6日（土）までにオンラインフォーム

(<https://forms.gle/jtPon36jEVEu4mXV7>) よりお申し込みください。

主催：韓国市民社会を知り日本市民社会を考えるプロジェクト（世界・社会委員会）



まごの手ヘルパー徒然記

ヘルパーの仕事を初めて行ったのは数年前の秋。それまで介護施設で働いていたので、自分が訪ねて歩くのは初めての経験でした。自転車に乗ったり、バスや電車に乗ったりしながら、先輩ヘルパーの後について利用者宅を次々と回る中でふと、この仕事は「旅人」のような仕事だな、と感じました。ヘルパーは利用者宅に上がらせて

もらう「旅人」。もし、利用者が受け入れたくなければ、玄関ドアを閉めてヘルパーを入れてくれません。ヘルパーが利用者宅で仕事をできるかは利用者次第だというところが、何となく「旅人」のような感覚を私に与えたのです。

介護の仕事は、今までできてきたことが次第にできなくなってきた



た「哀しみの状態」から始まる仕事です。「ヘルパーが来てくれないと生活がうまく回らない」ということは、利用者のプライドを多かれ少なかれ傷つけていくと思います。そんなとき、自分は「旅人」のような存在であり、利用者に受け入れてもらえなければ仕事ができない立場なのだと考えると、自分と利用者との関係が少しでもフラットに捉えられて、私にとってはそのほうが心地よく感じられます。

（まごの手職員・藤井 かえ子）

「生活支援わいわい」スタート!



2021年度
新組織スタートとともに、
総合サポート
センター・神
戸YWCA「ま

ごの手」の仲間として、活動することになりました。

日々の暮らしの中で、「電球を替えたい、家具を移動させたい、窓ガラスをきれいにしたい、〇〇を買に行きたい・・・」でも、自分一人ではできなくて困ったことはないでしょうか。そんなちょっとしたことにお手伝いが得られたら、暮らしがスムーズに運ばれるでしょう。「届いた文書がよくわからない、話し相手がほし

い、パソコンでちょっと困っている」などへのお手伝いも可能です。

「生活支援わいわい」は、お互いが支え合い、ふれあい、気持ちよく、心豊かに暮らせる地域づくりをめざして、サービス(お手伝い)を利用する人も提供する人もメンバーとして仲間に加わっていただきます(メンバー費2,000円/年)。

現在はコロナ禍で実働が難しく、会員・会友、YWCAに関わるボランティアの方々を対象に試行を重ねているところです。来年度は一般の方へも広げて本格的に活動できることを願っています。お問い合わせ・お申し込みは、神戸YWCA(078-231-6201)までお願いします。(川辺 比呂子)

ストーリーテリング 研究会



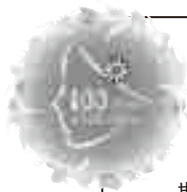
こんにちは、ストーリーテリング研究会です。マザーズカレッジ企画会の一つで、「絵本や児童文学には生きるヒントやことばの力がある」をテーマに活動しています。ストーリーテラー養成入門講座の修了生有志が研究会を立ち上げ、現在2つが活動中です。今では大切な柱に育ち、第1期研究会は2023年に20周年を迎えます!

昔話や児童文学を語りで届けるストーリーテリング。朗読とは違った力があります。『ストーリーテラーへの道』という本を道しるべに皆で熱く議論し活動していましたが、コロナ禍で研究会も延期が続き、自主研鑽の日々です。メンバーは子どもたちへ文学を届ける案内人です。安心して子どもたちと会い、こころ豊かな時を分かち合える日を待ち望んでいます。

(貫名 裕子)

DIY デイ!

8月7日(土)・10日(火)、
塗装がはがれていた保育園
前ウッドデッキの塗り
替えをおこないました!



神戸YWCA 創立100周年 記念募金 報告

期間：2019年5月1日～
2021年7月31日

目標額：10,000,000円

達成額：12,070,010円

創立100周年記念募金の使途：

- ・誰もが平和に暮らすための拠点づくり準備：7,451,405円
- ・創立100周年記念事業(記念事業、記念式典、記念誌発行)：3,748,017円
- ・事務経費：870,588円

ご寄付をお寄せいただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



コロナ禍の4月4日夜、尋常でないふらつきと嘔吐で倒れました。病名は「小脳出血」。「小脳ってどこにあるの?どんな働きをするの?」この歳になるまで知りませんでした。

手術は断り、理学・作業・言語療法士さんのリハビリ訓練を3カ月近く毎日続け、やっと退院して3カ月余りです。

「小脳」の位置と働きを確認。運動機能の調節と平衡をつかさどること、「ふらつき」はまさしくその後遺症だと知りました。転ばぬ先の杖での一人歩きも倍以上はかかり、疲れを覚える日々です。真に歯がゆいです!

出血はそれほどひどくなかったので、ペンを持ち、パソコンもでき、ふらつきはあっても歩けます。院内でコロナ感染が起こり、3週間の「カーテン牢獄」でしたが、はがきや携帯メールができたことは、幸いでした。

「小脳出血」になつてあらためて、神戸YWCAだけでなく各地域YWCAの方たちとの「長〜い繋がり」が支えになり、励みにもなりました。皆さんの知らなかった面を知り、嬉しかったです。

今、介護リハビリ施設に通っていますが80・90代女性の方がなんと多いことか、ここまで生き抜いてこられた女性の強さを垣間見る思いがします。神戸YWCAだったら、このシニアの方の居場所の可能性があるのでは?と思いつつも、まずは電車に乗って神戸YWCAに行けることが課題です。しばらくはゆっくり歩みます。

(鶴崎 祥子)

神戸YWCAへの おさそい

神戸YWCA分室

神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

*新型コロナウイルスの影響により、予定が変更されることがあります。

●カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
10月2日(土)、11月6日(土)
10時30分～13時
参加費 700円(おやつ付き)
要予約、詳細はお問い合わせください。

●わいわい茶話会 分室

10月15日(金)、22日(金)
10時30分～12時
①今どきの流行りもの「台湾デジタル担当相 オー
ドリー・タン」②ピアノ演奏
参加費 500円

●木曜カフェ 分室

10月14日(木)、28日(木) 14時～15時30分
ほっこりカフェ(1ドリンク100円～)
*食料品の販売はありません。

●世界YMCA・YWCA合同祈禱週

11月7日(日)～13日(土)
テーマ:「Beauty from Brokenness(仮訳:損なわ
れたことからくる美しさ)」
神戸YMCA・YWCA合同礼拝
11月9日(火) 9:00～10:00
奨励者:若林一義牧師(日本キリスト教団芦屋西教会)
会場:神戸YWCAチャペル

会費納入のお願い

2021年度(2021年4月～2022年3月)の会費・会友費のお支払いをお願いします。
2020年度の会費が未納の方は、併せてお納めください。

*特別な事情により会費の支払いが困難な場合は、「会費減額制度」がありますので、事務局にご相談ください。

理事会報告

7月17日、第2回理事会開催。出席理事8人、監事2人。分室利用契約の現状報告および今後の進め方について協議し、承認された。

8月21日、第3回理事会開催。出席理事8人、監事2人。創立100周年記念募金報告、2022年以降の新事業スケジュールについて協議し、承認された。(総幹事・西本 玲子)

賛助員

上紀子 島本健二 (敬称略)

編集後記

「人はみな日々、未来を歩いています」に目から鱗。Yも毎日が未来ですね。(S-I)

■ 学院だより

日本語コースでは「定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース」の入校式が9月17日に行われた。12人の訓練生にとっては、これから毎週月～金曜日、3カ月の訓練が待っている。感染防止対策にも配慮し、緊張しつつの開講である。

(学院長・西本 玲子)

■ 分室だより

9月の「わいわいデイルーム」。緊急事態宣言発令で、講師が来館できなくなったため、介護予防講座をオンラインですることになった。利用者さん全員がZoom初体験。「長生きするとおもしろい経験できるねえ」とカメラに向かって手を振ったり、マイクに近づいておしゃべりしたりと積極的。皆さんの元気の秘訣は好奇心。(塩見 洋子)

■ まごの手だより

訪問介護事業所では、9月21日付で常勤ヘルパーに山田司が着任した。今年度は生活支援や介護、子育て支援現場を訪問してヘルプ活動を行う。今後、まごの手職員としてさらなる活躍を期待している。

(所長・寺内 真子)

■ 保育園だより

子どもたちには、それぞれお気に入りの絵本があります。登園してきたら、まず、その絵本を「よんで」と保育士のところまで持ってきます。「もういっかい」が何度も繰り返される朝の保育室。

毎月、保護者に向けて絵本の紹介をしています。親子のゆったりとしたひと時に役立っていることを願って。

(園長・梅川 玲子)

■ 運営委員会報告

8月14日、第6回運営委員会開催(ハイブリッド)、出席7人。

【報告】●日本YWCA●LA●理事会●各委員会●グループの活動報告

【議事】●グループ活動の今後について検討●ファンドレイジング実行委員会と機関紙編集委員会の今後

9月11日、第7回運営委員会運営委員会開催(ハイブリッド)、出席7人。

【報告】●日本YWCA●LA●理事会●各委員会●グループの活動報告

【議事】●日本YWCAユースの支援者支援講座に運営委員2人の派遣決定●分室使用の件●組織検討

(書記・岩切 幸子)

はるいさんの 天然はちみつ

地方発送承ります。送料など詳しくはお問い合わせください。

ご注文・お問い合わせ:
ファンドレイジング実行委員会
(担当・秋月)

大(500g) ¥2,000

小(100g) ¥600

このはちみつの収益は、神戸YWCAの社会貢献活動のために用いられます。



ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給 198,100円～
パート 時給 1,100～1,200円
登録型 時給 1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

☎078-231-3156

◆生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手



シャマイム

担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



よい てん ご く
0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町 2丁目 13-2

URL: <http://sanosousai.com>